

KAKEHASHI プロジェクト 派遣プログラム 事前準備・プログラム中の活動・事後活動について

事業目的

日本と北米地域との間で、将来、各界で活躍が期待される優秀な人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、我が国の外交基盤の拡充を目指す。

本事業参加青少年に、日本の外交姿勢、日本の魅力等を積極的に発信せしめ、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進に寄与する。

I. 事前準備(渡航前)

1. 派遣国についての事前学習

現地での交流を円滑に進められる様、派遣国の歴史、文化、政治、経済、また宗教、民族等について事前学習を行って下さい。派遣前に派遣団員間で調べたことを発表、共有し合い、理解をより深めるための機会を設けて下さい。

2. 日本紹介プレゼンテーション及び実演の準備

日本の魅力を発信するための事前準備として、日本についても詳しく学習することが大切です。日本の外交姿勢や歴史、文化、政治、経済、先端技術、在住地域の魅力などを調べ、学んだ上で準備を始めてください。

派遣国での学校交流時、以下 2 テーマについて、どちらか一方をプレゼンテーション、もう一方を実演形式にて発表を行っていただきますので、事前に派遣団員で発表方法や内容・構成を検討し準備してください。

(1) テーマ

- ① 日本及び自身の在住地域の魅力(次ページに具体例を掲載)
- ② 日本の伝統文化、ポップカルチャー等

(2) 時間:

プレゼンテーション、実演共にそれぞれ 30 分程度。(要相談)

(3) 言語:

英語で発表を準備してください。

(4) 形式:

プレゼンテーションはパワーポイント等利用可(目安 20 スライド(写真スライド除く))

※MAC ではなく Windows を推奨。

(5) その他

- ・ 発表時に利用するパソコンを 1 台持参してください。(Microsoft OS 以外はプロジェクター

に接続できない場合がありますのでご注意ください。)

- ・ 持参する荷物が航空会社の無料手荷物規定を超えた場合の超過料金は自己負担となりますのでご注意ください。

【注】上記の事前準備以外に、プログラム内容に合わせた準備をお願いすることがあります。
その場合は担当者より別途ご連絡いたします。

◆プレゼンテーション及び実演のヒント◆

① テーマ設定(日本の魅力の具体例)

日本の外交姿勢や、日本及び自身の在住地域の歴史、文化、自然、地場産業、日本食、祭りや、世界に向けてアピールしたい魅力を高校生・大学生の目線から設定して下さい。また、これ以外にも日本の高校生・大学生の日常生活や、日本が誇る文化や産業として、アニメ、J-POP、かわいい文化、各種伝統芸能、武道、日本の製品・サービス、日本人の勤勉さ・きめ細かさ、価値観、治安の良さ等を含めても良いでしょう。

② プレゼンテーション・実演の作成・構成

- ・ プレゼンテーションのスライドは文字ばかりにしないように心掛け、デジタルデータである映像、音声、動画、図、グラフ、写真等視覚に訴えるものをふんだんに盛り込んでください。長い文章は載せず、ポイントだけを箇条書きにすると聞き手にわかりやすいでしょう。
- ・ 発表時は聞き手とアイコンタクトを取るよう努め、身振り手振りなどジェスチャーを用いるとより効果的です。
- ・ クイズ形式など聞き手を巻き込む参加型にすると、より活発的な発表になるでしょう。
- ・ 自分の意見や体験を明示することが大切です。
- ・ 書籍やインターネット等から情報を引用しても構いませんが、使用したウェブ上の情報源や書籍名、著者等を参考文献として表記することが必要です。

③ 発表練習およびリハーサル

- ・ 発表する順番に立ち位置を確認しておいてください。
- ・ 聞き手に話しかけるように発表し、可能な限り暗記を試みましょう。
- ・ 最初から終わりまで通してリハーサルを行い、発表の長さに過不足が無いか確認しましょう。

Ⅱ. プログラム中の活動 (滞在中)

1. 派遣国での気づきを、毎日「気づきノート」にまとめましょう

※毎日の振り返り作業として、気づきノートに必ず記入してください。気づいたことの背景や原因についても必ず考えることが大切です。気づきや背景・原因はチーム内でシェアしてください。プログラム後半のワークショップではこの気づきのまとめ作業を行い、アクションプラン（帰国後活動計画）を作成し、報告会で発表していただきます。

2. プログラム中の様子や日本の魅力を、英語や各国言語を用いてブログ・SNSで発信しましょう
※世界に向けて、プログラムの様子や学校交流で発表する日本の魅力、発表後の現地学生の反応、交流時の写真・動画など、ブログやSNS (Facebook、Twitter、Instagram等)を活用し、自由に発信して下さい。

Ⅲ. 事後活動（帰国後）

1. アクションプランの実施及び報告（必須）

派遣中に現地で作成もしくは帰国後に作成したアクションプラン（帰国後活動計画）に基づき、派遣報告会等、帰国後に事後活動を行ってください。実施後、アクションプラン実施報告書を作成し、JICE 担当者へ提出してください。実施報告書は外務省へ提出すると共に、JICE の WEB サイトに掲載する場合があります。

2. プログラム直後アンケート・感想文の提出（必須）

帰国後 1 週間以内に、アンケート及び感想文を提出してください。感想文は外務省への報告書及び JICE の WEB サイトに掲載する場合があります。

3. 2ヶ月後アンケートの提出（必須）

帰国約2ヶ月後にJICEよりアンケート回答用のURLを送付しますので、期間内に必ず回答してください。全員の回答が揃い次第、外務省へ提出します。

※メールアドレスを変更した場合にはJICEへご一報下さい。

4. 1年後アンケートの提出（必須）

帰国約1年後にJICEよりアンケート回答用のURLを送付しますので、期間内に必ず回答してください。全員の回答が揃い次第、外務省へ提出します。

※メールアドレスを変更した場合にはJICEへご一報下さい。



対日理解促進交流プログラム KAKEHASHIプロジェクト 標準日程案(現地6泊)大学生/院生

※日取り・内容とも準備・暫定案ですので、今後の諸調整状況に応じて変更となります。

				プログラム	目的	宿泊
事前説明会（渡航1か月前を目安に）						
1	3月8日	火				米国泊（1）
				（成田）発 → 米国着		
2	3月9日	水	午前	日本国総領事館 訪問 （プログラムオリエンテーション）	米国の歴史・文化・政治・経済等を知り、米国理解の一助とする。また、米国との関係、日本の位置づけや評価を把握し、「日本の政治、社会、歴史および外交政策」を発信する準備へとつなげる。	米国泊（2）
			午後	相手国関係機関・国際機関等 訪問		
			夕方	市内視察		
3	3月10日	木	終日	学校交流① ・Opening Ceremony ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演（経済・産学・歴史・自然・文化等） ・米国学生からの米国紹介プレゼンテーション ・現地学生とのディスカッション	米国の同世代の青少年に対し、日本の歴史・文化・自然・地域の魅力、先端技術、外交等についてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。	米国泊（3）
4	3月11日	金	終日	学校交流② ・Opening Ceremony ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演（経済・産学・歴史・自然・文化等） ・米国学生からの米国紹介プレゼンテーション ・現地学生とのディスカッション	米国の同世代の青少年に対し、日本の歴史・文化・自然・地域の魅力、先端技術、外交等についてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。	米国泊（4）
5	3月12日	土	終日	歴史／文化／自然体験 （地方プログラム）	世界遺産等を訪問し、相手国の自然環境・歴史についても理解を深める。	米国泊（5）
6	3月13日	日	午前	市内視察	米国の人々の生活の様子や都市を見学し、米国の現状を参加者自身の眼で確かめ、理解を深める。	米国泊（6）
			午後	ワークショップ・報告	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案（学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等）について、米国関係者に報告する内容をまとめ、米国関係者に報告する。	
7	3月14日	月	午前	帰国準備		機内泊
			午後	米国発→（成田）		
8	3月15日	火	終日	日本着 解散		